

2024
復活祭

キリストの復活の いのちを生きよう

イースター礼拝 ルカ福音書24:1～12節他

アウトライン

I. イースターって？

II. 聖書に書かれた

イスラエルとキリスト

III. イエス・キリストの復活

IV. まとめと適用

キリストの復活の命を

生きよう



イースターって？

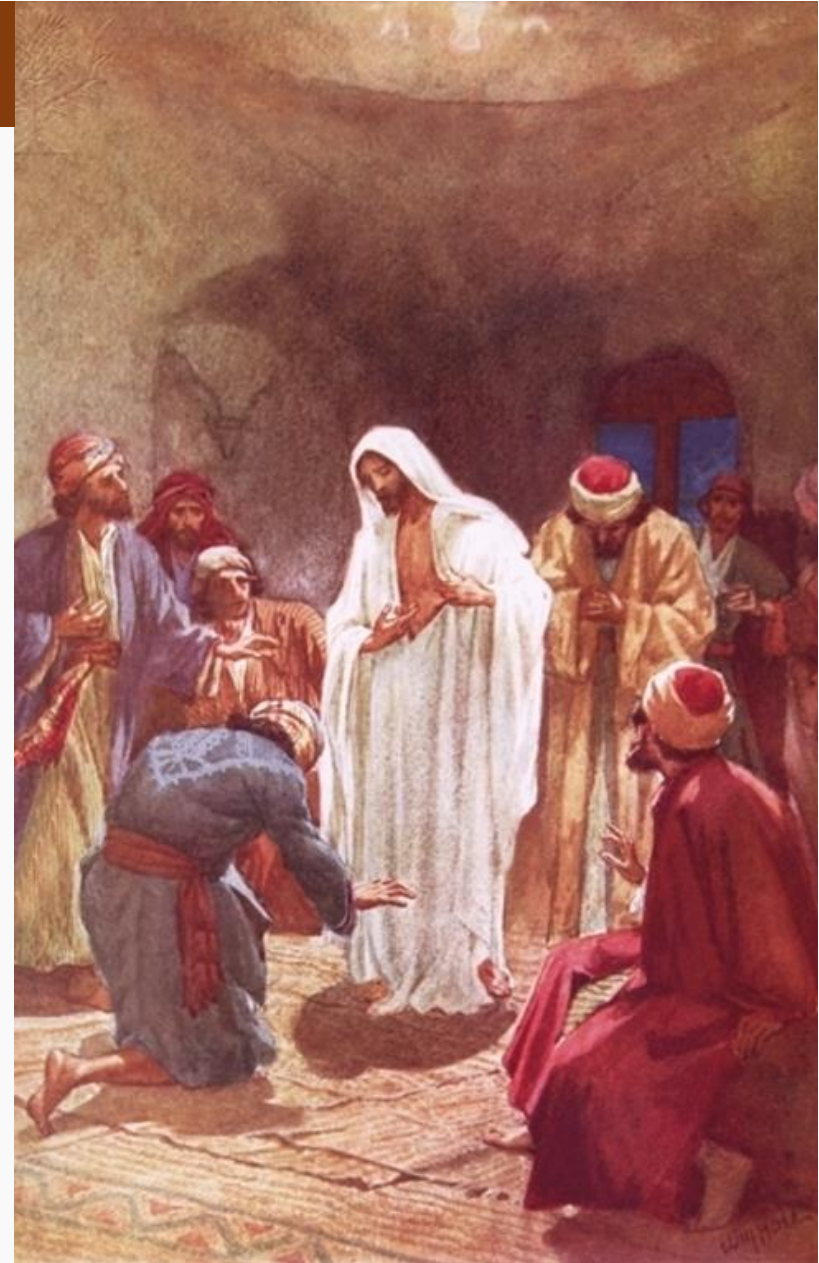


イースターとは？

★イエス・キリストの復活祭★

十字架で死んだイエス・キリストが
三日目に復活したことを
記念する日です。

「春分の日後の
最初の満月の次の日曜日」
※毎年、変わります!!



イースターとは？

- ★ヨーロッパのゲルマン人の習慣から
- ★春の豊穡の女神
「エオストレ」 → 「イースター」
- ★多産のウサギは、豊穡のシンボル。
じゃあ、タマゴは？

これだけだったら、キリストの復活と関係ないよね？



タマゴとイースターの本当の起源

- ★ イースターの本当の起源は、
イスラエル(ユダヤ)の「**過越の祭り**」
- ★ ユダヤの「**過越の祭り**」では、
タマゴを食べる。
- ★ 元々は、神殿で献げた**羊**を食べた。
➔ 神殿が破壊されて以降、
タマゴが代用品に!!



過越の祭りって？

■ イエス・キリストが、
十字架で死んで、復活したのは、
イスラエルの「^{すぎこし}過越の祭り*」の最中。

*イスラエルが、奴隷から解放され、
民族として誕生した記念の日。


➡ユダヤの一番大切なお祭り!!



現在のユダヤ人家庭での過越の祭り



家族が集い、イスラエル民族の起源を学びます。



イースターが記念するのは、
イエス・キリストの復活

イースターの本当の起源は、
イスラエルの過越の祭り

キリストの復活と過越の祭りは、つながってる!!



II. 聖書に書かれたイスラエルとキリスト

「見よ、それは、非常によかった」



神は、人を
神に似せて造られた。

本当のこと
よいこと
美しいこと
を求めるように

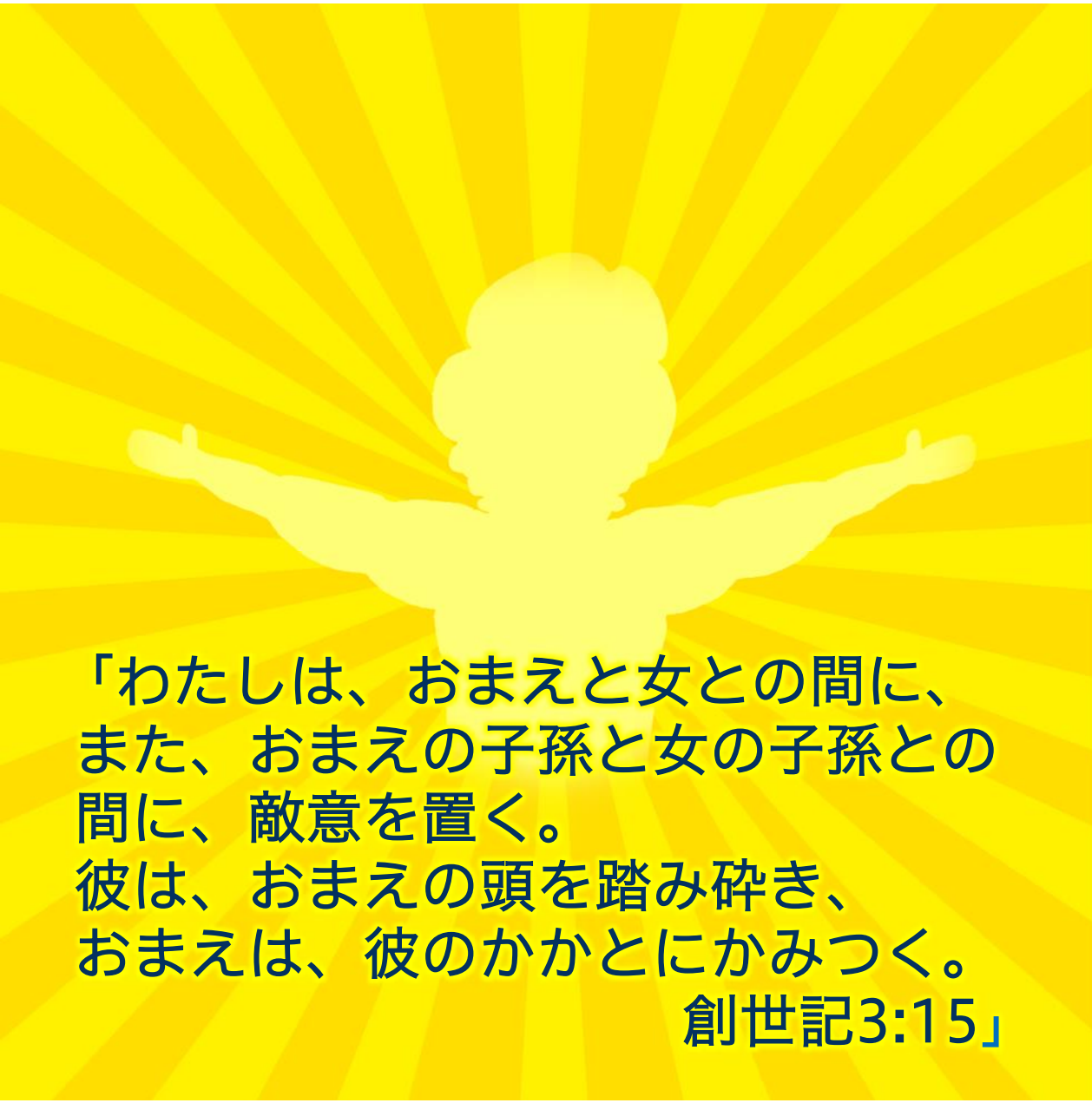
お互いを大切に、
愛しあうように、
人は神に造られた。



人は、サタンにだまされ、
神との約束を破った。
これが最初の罪。

罪の結果が「死」。
人は神から「断絶」された。

神に似た、よい性質は、
うまく働かなくなり、
人は、サタンの性質に
支配された。嘘と欲望だ。



「わたしは、おまえと女との間に、
また、おまえの子孫と女の子孫との
間に、敵意を置く。
彼は、おまえの頭を踏み碎き、
おまえは、彼のかかとにかみつく。
創世記3:15」

神は、人を見捨てなかった。

キリストを
送ると約束されたのだ。

キリストは命を犠牲にして、
人を罪から救われる。
死から回復してくださる。

「地上のすべての民族は、
あなたによって祝福される。
創12:3」



人は罪を重ねるばかりだった。

神は、アブラハムを選び、
約束された。

その子孫に土地を与え、
繁栄させ、子孫にキリストが
誕生すると。



アブラハムの子孫は、
逃れていたエジプトで、
イスラエルという
一つの民族に成長した。

神は、モーセを指導者に命じ、
イスラエルをエジプトから
脱出させた。

こうして、
神の民イスラエルが誕生した。



神は、イスラエルを苦しめたエジプトを裁いた。

神は、裁きからイスラエルを守るため、小羊の血を家の入り口に塗るように言われた。

これが最初の「**過越の祭り**」
災いを過ぎ越す、という意味。
イスラエルは、永遠に過越の祭りを祝うよう、神に命じられた。



イスラエルは、約束の地に
王国を築き、栄えたが…。

神の命令に背き、偶像を拝み、
ついに神の裁きを受けた。

都は破壊され、外国に支配さ
れる苦しい時代が長く続いた。

イスラエルは、神が約束され
た**キリスト**を、強く待ち望む
ようになっていった。



今から約2千年前、
ついに**キリスト**が誕生した。
ユダヤのベツレヘムで、処女
マリアから生まれたイエスだ。

2歳の時、ヘロデ大王に命を
狙われたキリストは、両親と、
一時、エジプトに逃れ、
再び、約束の地に戻られた。

イスラエルがエジプトから
解放された時のように!!



イエスは、**キリスト**としての働きを始める前、ヨルダン川で洗礼を受けられた。昔、イスラエルが海を渡り、ヨルダン川を渡ったように。

神は、海を分けられたが、イエスは、海の上を歩かれた。

イエスは、神にしかできないたくさんの奇跡を起こし、**キリスト**の証拠を示された。

「取って食べなさい。
これはわたしのからだです。」
「みな、この杯から飲みなさい。
これは、わたしの契約の血です。
罪を赦すために多くの人のために
流されるものです。」


マタイ26:26~28



三年後の**過越の祭り**の夜。
イエスは、弟子たちとの
食事の場で、宣言された。

イエスこそキリストであり、
人の罪を身代わりに負う
あがないの犠牲の小羊だと。

イスラエルの**過越の祭り**は
キリストを指し示していた。



「わが父よ。できますならば、この杯を
わたしから過ぎ去らせてください。しかし、
わたしの願うようにはなく、あなたの
みこころのように、なさってください。」

マタイ 26:39

しかし、イスラエルの指導者
たちは、イエスをキリストと
認めなかった。

過越の祭りの晩に、神は、
イエスに明らかにされた。

イエスは、神の怒りを受け、
父なると完全に断絶される。

十字架が目前に迫っていた。



捕らえられたイエスは、
神を冒涇したと訴えられた。

ユダヤ議会は、イエスを、
ローマ総督ピラトに引き渡し、
十字架につける、と叫んだ。

ピラトは、イエスの無罪を
知りながら、圧力に負けて
十字架刑を宣告した。

「父よ彼らをお赦してください
彼らは何をしているのか
自分で分からないのです」

ルカ23:34

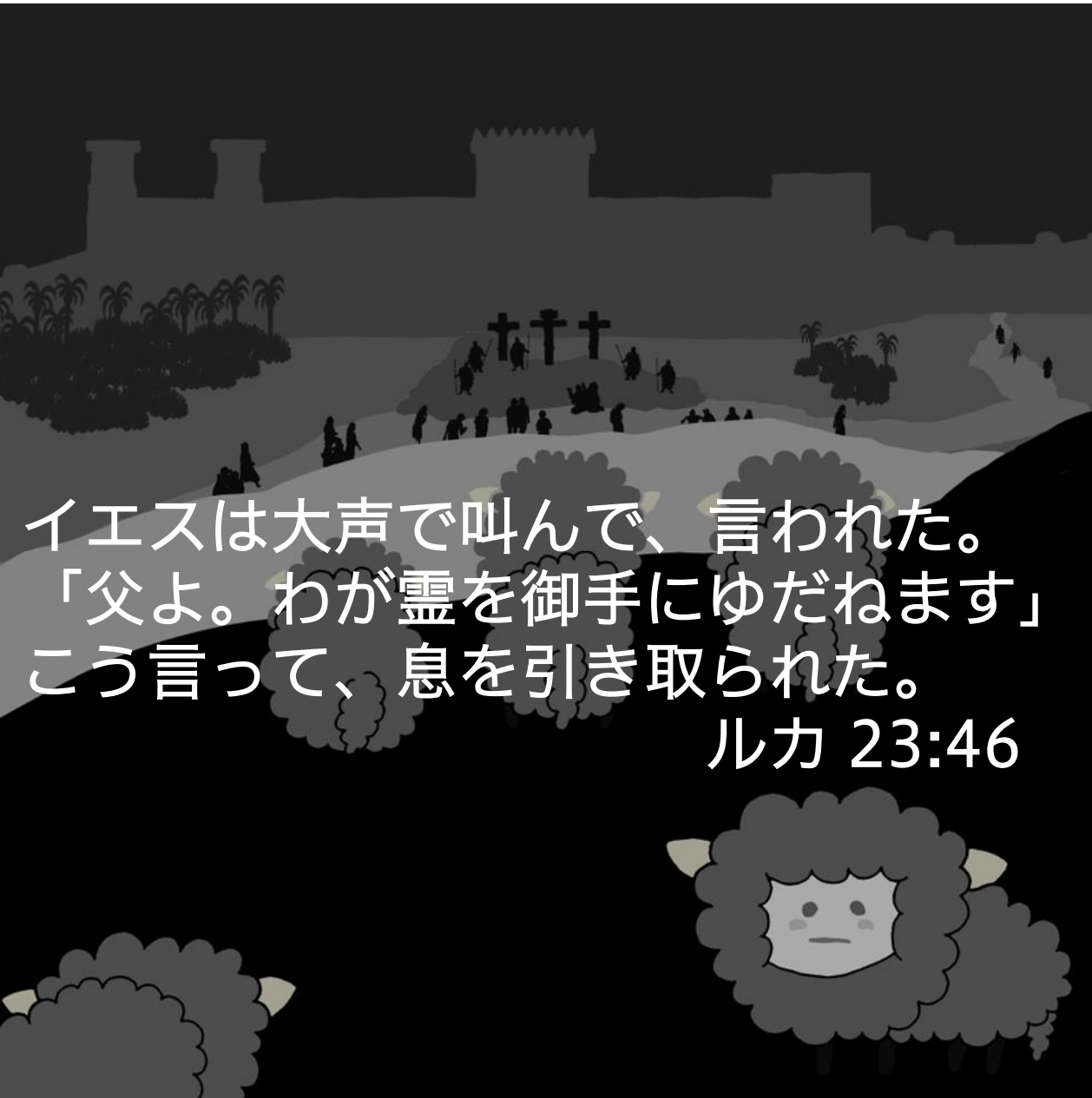
「まことに、あなたに告げます。
あなたはきょう、わたしと
ともにパラダイスにいます。」

ルカ 23:43

イエスが十字架にかけられた
午前9時。神殿では、過越の
祭りで最も重要な犠牲の羊が
ささげられていた。

あざける人々のためにも、
イエスは祈られた。
隣で十字架にかけられた一人
の罪人は、イエスをキリスト
と信じて、救われた。

正午から三時まで、闇が地を
覆った。神の怒りが、イエス
に注がれていた。



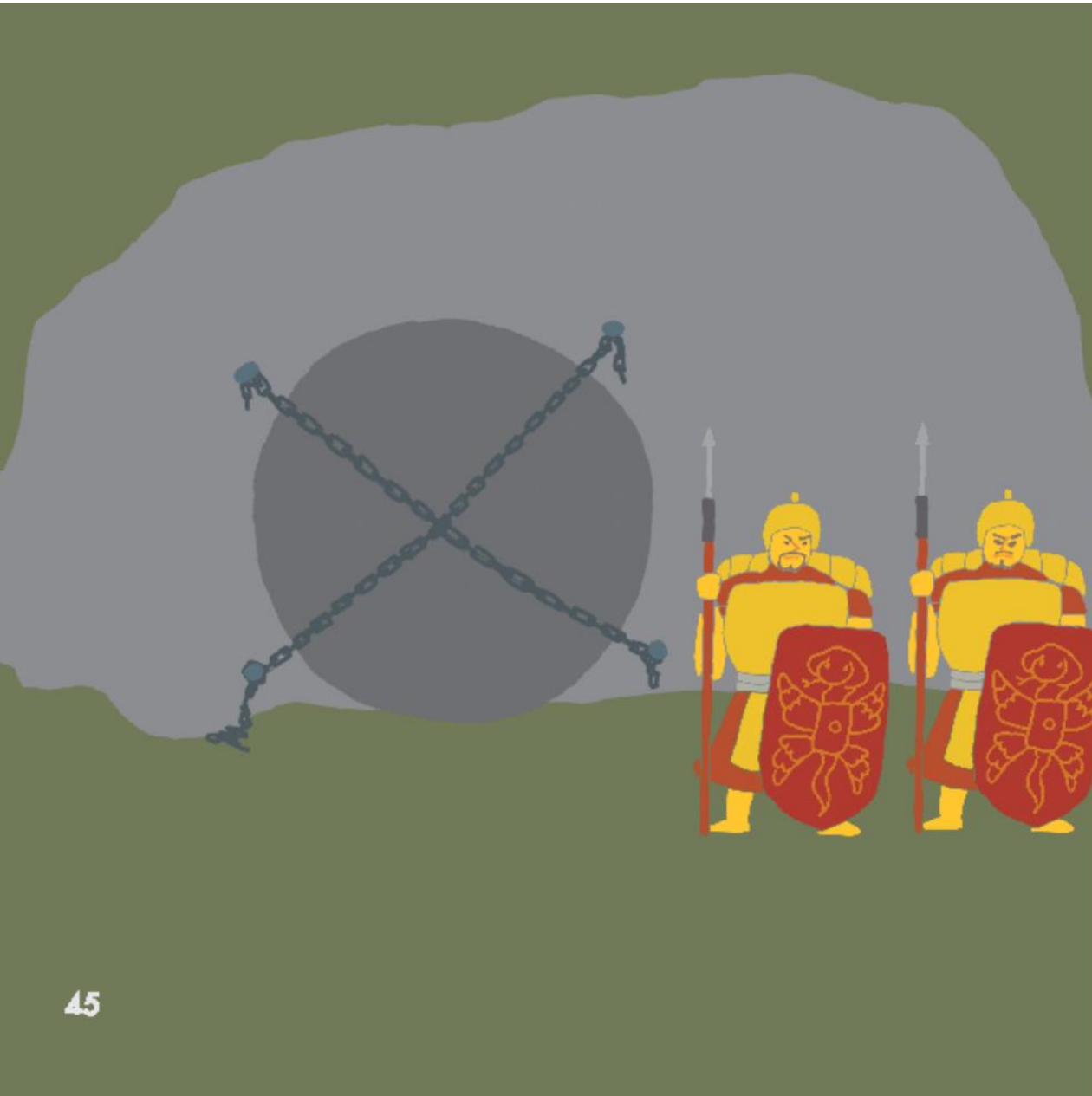
イエスは、「完了した」と叫び息を引き取られた。

神の怒りを身に受け、私たちの罪の代価を支払われたのだ。

主イエスの十字架の死は、あなたの罪のためだった。

信じた者は、罪をゆるされ、神の目に義と認められる。

イエスは大声で叫んで、言われた。
「父よ。わが霊を御手にゆだねます」
こう言って、息を引き取られた。
ルカ 23:46

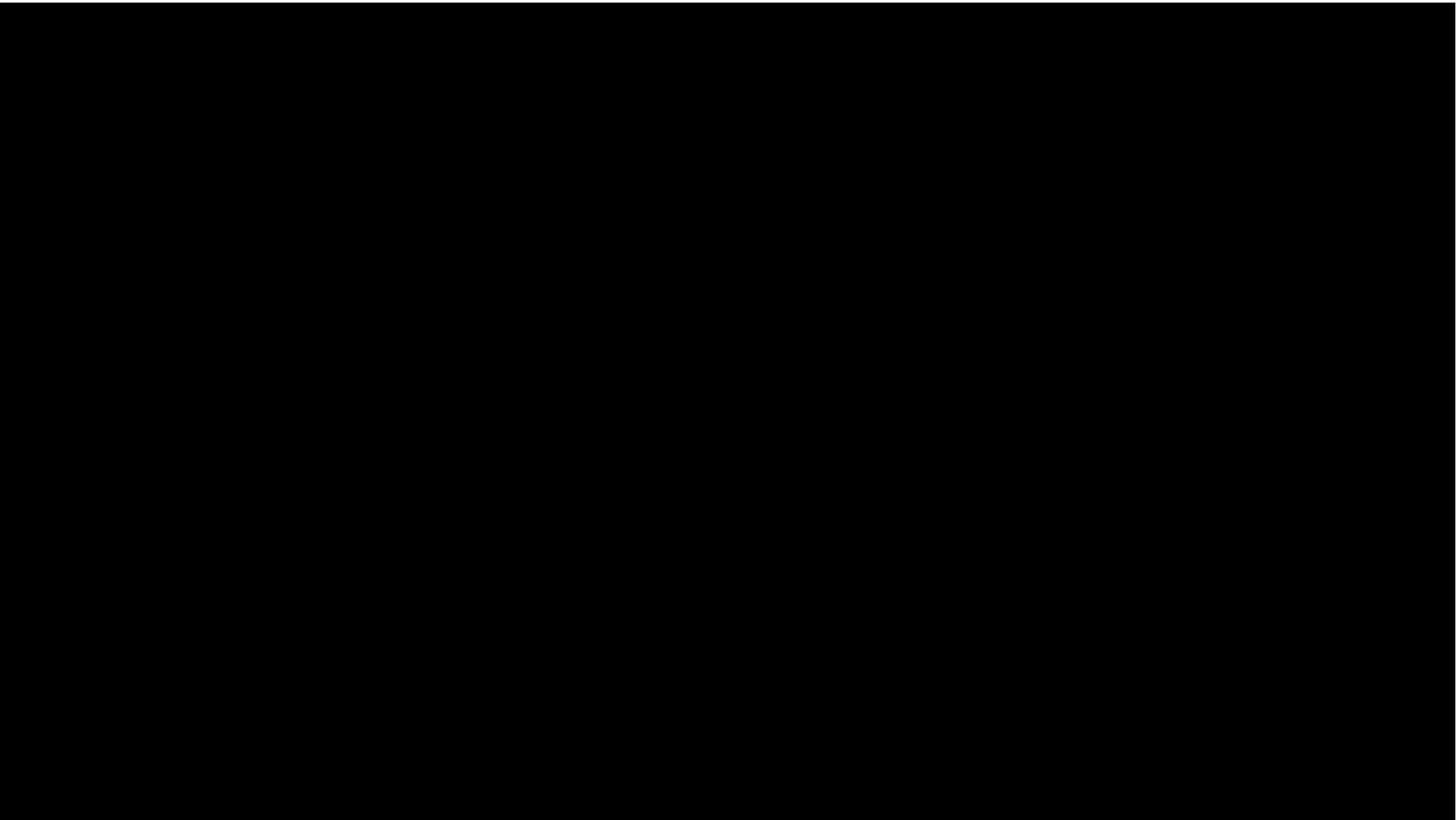


身を明かした隠れ弟子が、
イエスの遺体を葬った。

イスラエル指導者は、ローマ
に墓の番を依頼した。
弟子たちが死体を盗み、
イエスの復活を言いふらす
のではと、恐れたのだ。

兵士は、命がけで番をした。

逃げ出した当の弟子たちは、
復活の予告を忘れていた。





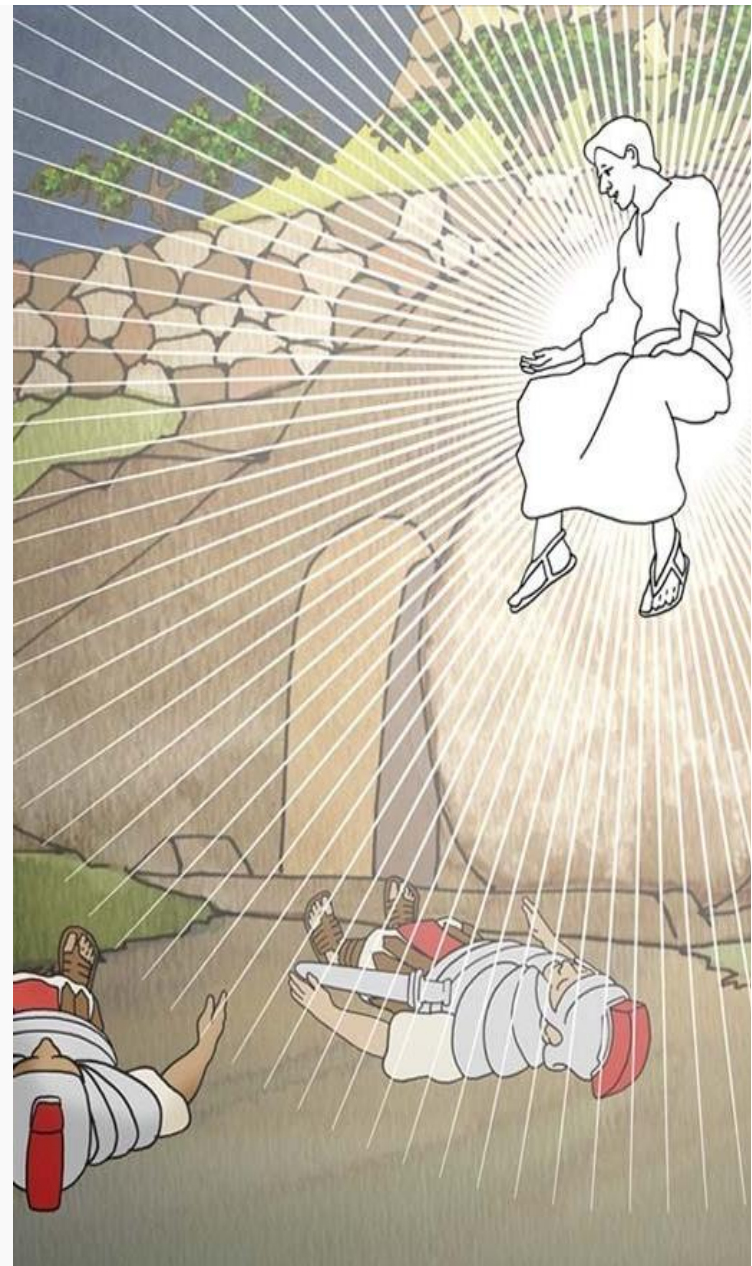
Ⅲ. イエス・キリストの復活

天使の出現

マタイ福音書28:2~4

「すると、大きな地震が起こった。それは、主の使いが天から降りて来て、石をわきへころがして、その上にすわったからである。その顔は、いなずまのように輝き、その衣は雪のように白かった。番兵たちは、御使いを見て恐ろしさのあまり震え上がり、死人のようになった。」

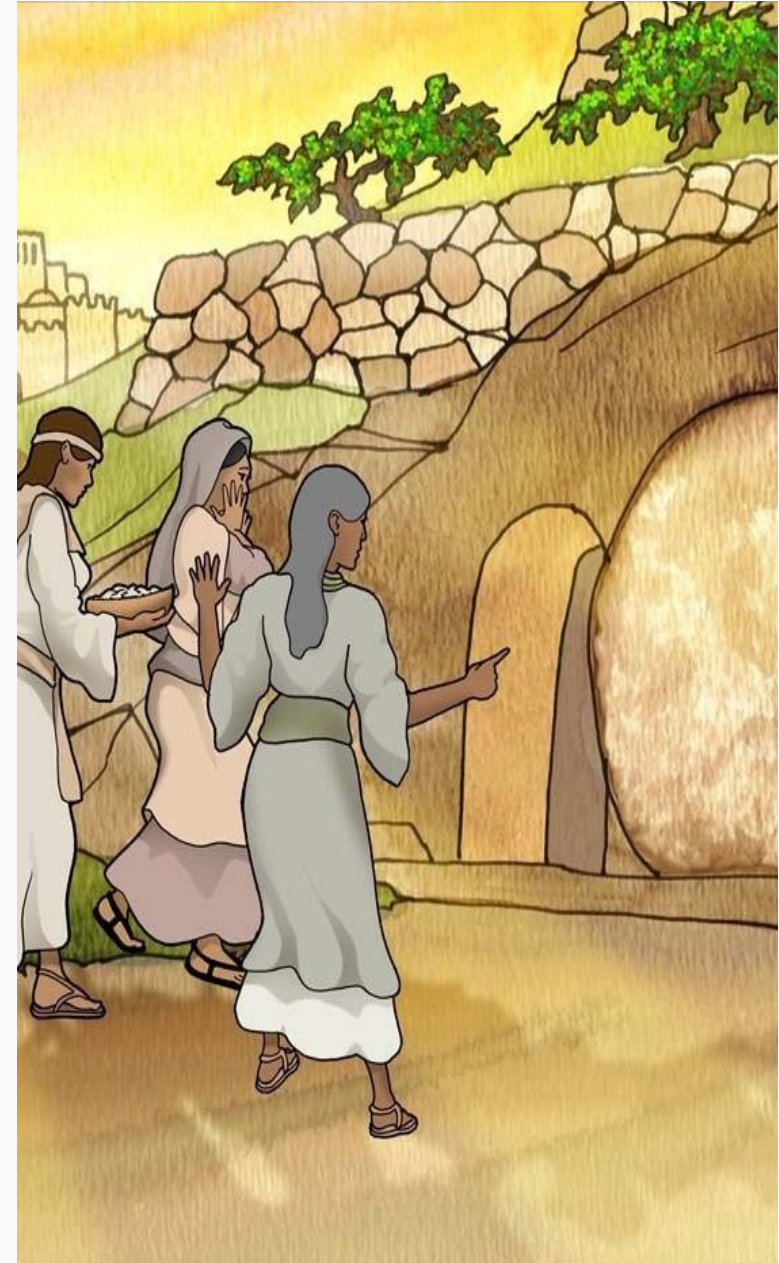
■ 天使を見て、兵士たちは恐れ、逃げだした。



女たち、墓へ

ルカ福音書24:1

- 三日目の朝、その日は過越の祭りの間の大切な日曜日、初穂の祭りだった。
- 女たちが、イエスの墓を訪れた。イエスの遺体にせめて、丁寧に香料を塗りたいと思ったのだ。
- 墓に兵士の姿はなく、墓の入り口は開いていた。



二人の天使

ルカ福音書24:2~4

見ると、石が墓からわきまにころがしてあった。入って見ると、主イエスのからだはなかった。そのため女たちが途方にくれていると、見よ、まばゆいばかりの衣を着たふたりの人が、女たちの近くにきた。

- イエスの遺体を巻いていた布だけが残っていた。(ヨハネ20:6~7)
- 事態が理解できない女たちの前に、天使が現れた。



主は復活された

ルカ福音書24:5~6

恐ろしくなって、地面に顔を伏せていると、その人たちはこう言った。「あなたがたは、なぜ生きている方を死人の中で捜すのですか。ここにはおられません。よみがえられたのです。まだガリラヤにおられたころ、お話しになったことを思い出さない。」

- イエスは、今、どこにおられるのか？
十字架の上でも、墓の中でもない。
- 復活の後、50日後に天に昇られ、
大祭司として、神の右の座におられる。



信ずべき福音

ルカ福音書24:7~8

「人の子は必ず罪人らの手に引き渡され、十字架につけられ、三日目によみがえらなければならない、と言われたでしょう。」
女たちはイエスのみことばを思い出した。

■今の時代に思い起こすべきは「福音」

「主イエス・キリストは、

- ①私の罪のために十字架にかけられ、
- ②死んで葬られ、
- ③三日目に復活された。」



主イエスは復活され
今も生きておられる

弟子たちへの報告

ルカ福音書24:9~10



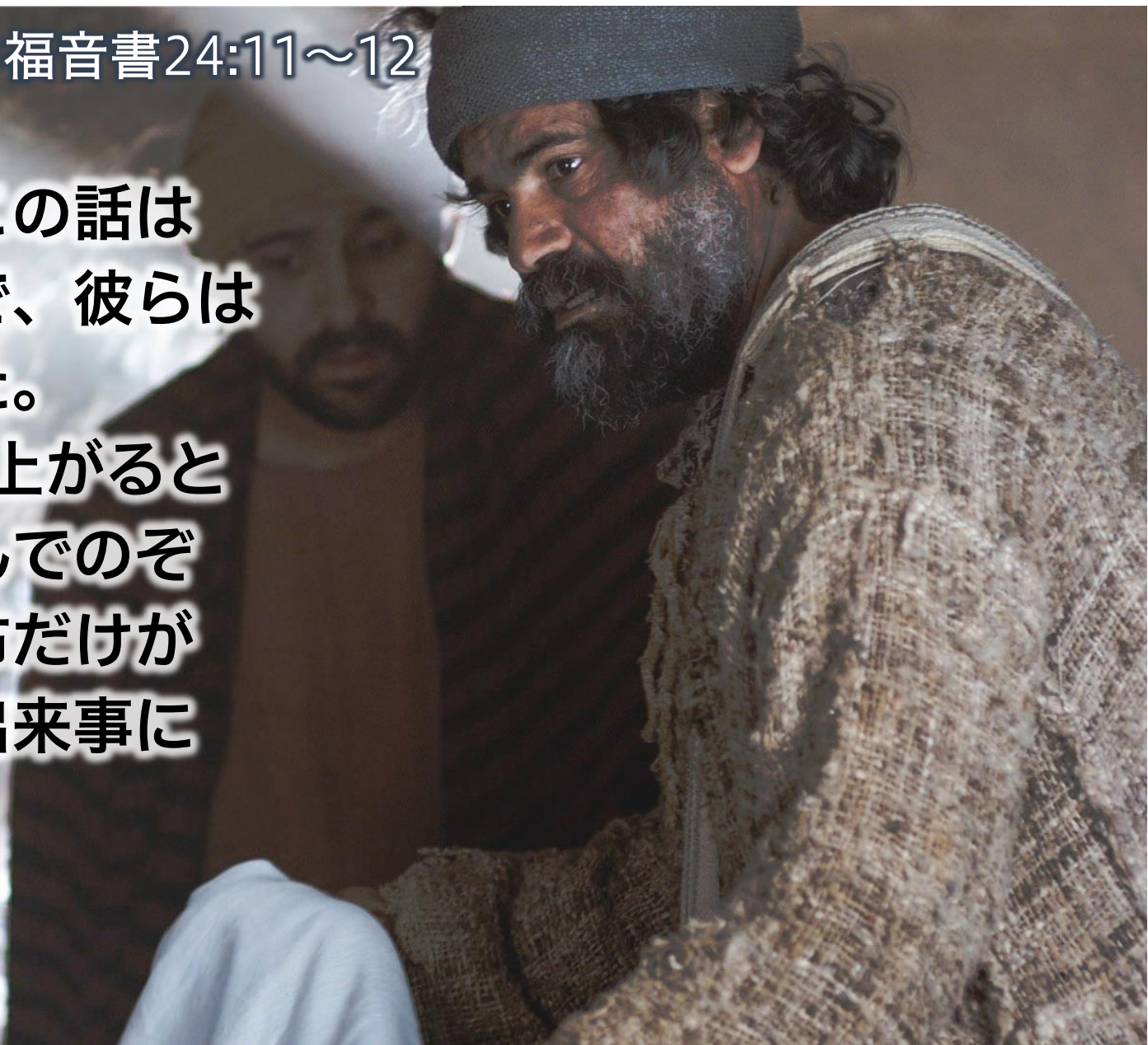
そして、墓から戻って、十一弟子とそのほかの人たち全部に、一部始終を報告した。この女たちは、マグダラのマリヤとヨハンナとヤコブの母マリヤとであった。彼女たちといっしょにいたほかの女たちも、このことを使徒たちに話した。

弟子たちの反応

ルカ福音書24:11~12

ところが使徒たちにはこの話はたわごとと思われたので、彼らは女たちを信用しなかった。

しかしペテロは、立ち上がると走って墓へ行き、かがんでのぞき込んだところ、亜麻布だけがあった。それで、この出来事に驚いて家に帰った。





IV. まとめと適用

復活のいのちを生きよう

弟子たちも告げ知らせた福音

■使徒パウロの告白 コリント人への手紙第一15:1~3

兄弟たち。私があなたがたに宣べ伝えた**福音**を、改めて知らせます。あなたがたはその**福音**を受け入れ、その**福音**によって立っているのです。

私がどのようなことばで**福音**を伝えたか、あなたがたがしっかり覚えているなら、この**福音**によって救われます。そうでなければ、あなたがたが信じたことは無駄になってしまいます。

私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。

弟子たちも告げ知らせていった福音

■使徒パウロの告白 コリント人への手紙第一15:3~7

キリストは、聖書に書いてあるとおりに、**私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと、**

また、ケファに現れ、それから十二弟子に現れたことです。

その後、キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現れました。その中にはすでに眠った人も何人かいますが、大多数は今なお生き残っています。

その後、キリストはヤコブに現れ、それからすべての使徒たちに現れました

弟子たちも告げ知らせていった キリストの復活

- 弟子たちは、キリストの**復活**を見たまま、伝えていった。あざけられながら、命がけで伝えたのは、真実だから。人は、嘘のために命はかけられない。
- 聖書が記された時、何百人もの**復活**の目撃者が生きていた。大勢の証人の前で、キリストの復活は聖書に記録された。
- キリストの十字架の死と**復活**を信じた人々が変わられていった。クリスチャンを迫害していたパウロも、その一人。死んだ方がましなほどの苦難の中で、福音を伝えていった。

空の墓の前で天使が告げた、大切なこと

①主イエスは、復活され、今も生きておられる。

「あなたがたは、なぜ生きている方を死人の中で捜すのですか。ここにはおられません。よみがえられたのです。」

②主イエスは、予告された通り、死を打ち破って復活された。

「人の子は必ず罪人らの手に引き渡され、十字架につけられ、三日目によみがえらなければならない、と言われたでしょう」

**主イエス・キリストは、私の罪のために
十字架で死なれ、葬られ、復活された。**

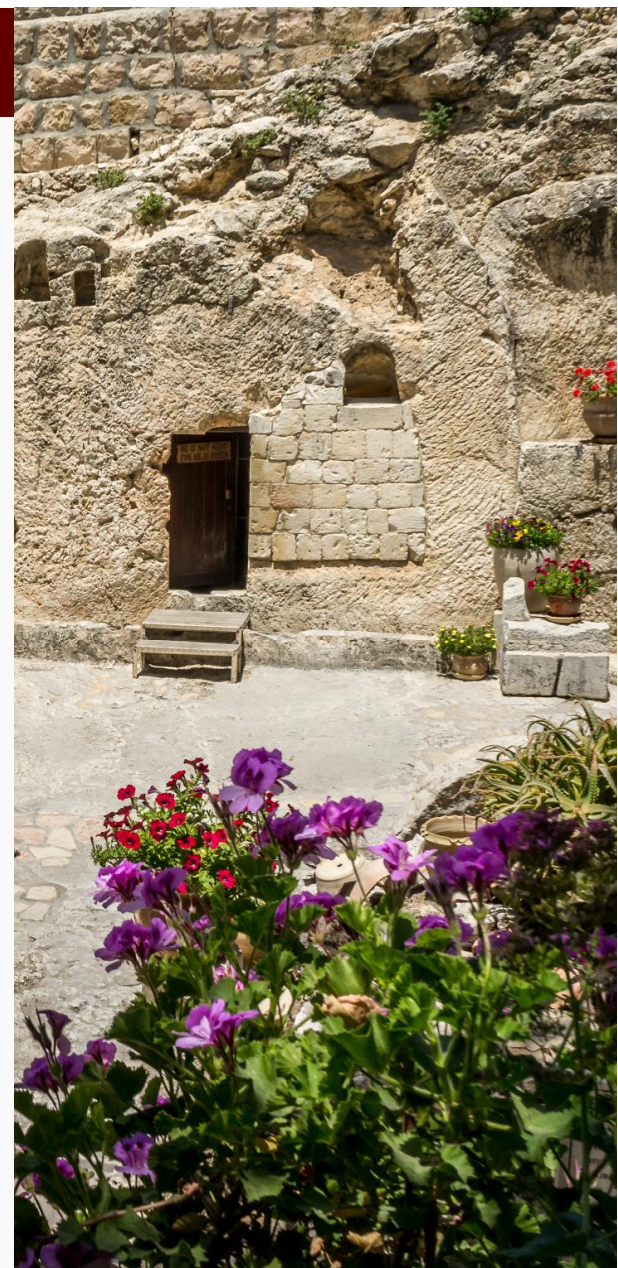
福音を信じた人は、復活する!!

- イエス・キリストの十字架と復活を信じた人は、復活する。
 - ➔ 神と断絶された、死と滅びから、神の命の内に復活する
- 再び神とつながることで、神の似姿として回復していく。
 - ➔ 嘘や偽りを遠ざける
 - ➔ 真実、善いこと、美しいことを求める
- 神の似姿として造られ、非常によいとされた、本当の私に回復されられていく。キリストが建てられる神の王国で、完全な栄光の体を与えられる。

空の墓の前で

■ 元イギリス陸軍将校のティム・クロス少将は、エルサレムにあるイエス時代の庭園を訪れた。岩に刻まれた空の墓の中を見るやいなや、イエスの復活の現実を確信した。

■ ユダヤ人のリチャード・ハーヴェイ氏は、友人から聞かされて、福音に心を開いていたが、復活については理解できなかった。ある時、彼は『空の墓』の幻を見て、キリストの復活を信じた。



イエス時代の墓がある「園の墓」

“He is not here, for He is risen,”

「ここにはおられません。前から言っておられたとおり、
よみがえられたのです。マタイ28:6」

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

わたし あたら う か いのち ふっかつ
私は、新しく生まれ変わり、キリストの命に復活しました。

わたし しゅ ひじょうほんとう わたし もど
私は、主が非常によいとされた、本当の私に戻っていきます。

しんじつ よ うつく なに あい もと
真実、善いこと、美しいこと、そして何より愛を求めます。

ふくいん つた よろこ つか
キリストの福音を伝えていきます。喜んで遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」